

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263

暮らしの中の仏教



平成31年
1月号



撮影・国分尚三様

お坊さんにあいさつするとアメちゃんももらえるよ!



新年明けまして おめでとうございます

昨年は多大なるお力添えを賜り、有り難く心より厚くお礼申し上げます。

本年も変わらぬご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また、西徳寺の諸行事にご参加頂き、皆様方とお逢いできることを、職員一同楽しみにしております。

平成三十一年 元旦

住職 脇阪義幸
最高顧問 大谷義博
職員 一同

昭和五十三年二月に創刊されたこの伝道誌「えこお」の名は、「回向」から採られたそうだ。

「回向」とは、「他より(自分の力以外のもの)与えられるもの」の意味である。

与えられる資格なき身が、日常生活の中で一つひとつを恵まれたものとして受け取る智慧が、今日一番欠けているのではなからうか。そのことに無感覚の私。

冥加を見失った私。今年もお恥ずかしい私の一年が始まる。

(脇阪 義幸 記)



とうこうじゆく

燈虹塾のご案内

第4回講演会「新春を迎える江戸の粋こた〜小唄の世界〜」

平成31年1月23日(水) 14:00 ~ 16:00
西徳寺本堂(参加費 1000円予約なし)

今回は「小唄」を取りあげます。小唄吉川二代目家元の吉川明貴子様(西徳寺門徒)をお招きいたします。日比谷代表が解説致します。

また元吉原と新吉原の夢のコラボレーション企画もございます。お楽しみに♪ (燈虹塾事務局 山崎 哲)

今月の予定

修正会しゆしよえ

1日(火) 午前7時

混声合唱団「エコー」練習

12日(土) 午後3時15分

「歎異抄たんいしやう」に聞く 講師 宗正元師そうしよげん

16日(水) 午後1時半

定例聞法会

19日(土) 午後1時半

混声合唱団「エコー」練習

午後3時15分

評議員会新年会

20日(日) 午後3時

仏教青年会「歎異抄」に聞く 講師 宗正元師そうしよげん

22日(火) 午後7時

燈虹塾(江戸文化推進)・本堂

23日(水) 午後2時

同行会新年会

26日(土) 午後5時半

婦人会新年会

27日(日) 午前11時

青年会新年会のご案内

平成31年1月22日(火)

前回の聞法会で宗正元先生は、「本当に私たちが生きている世界は、自分の心で分かるものじゃない」とお話をくださいました。新年の第1歩を皆様と共に、仏様の教えの中に確かめながら歩んでまいりたいと思います。

青年会は年齢関係なく集える会です。どうぞお気軽にご参加ください。(仲井 真裕 記)



クローズアップ西徳寺

12月11日

仏教青年会報恩講ほうおんこう

昨年の青年会報恩講は、西徳寺斜め向かいの長國寺(法華宗)の井桁鳳雄師をお迎えました。

「仏様の一番近くに居る僧侶は幸せ。その幸せをお分けするのが勤め」と断言され、在家からお寺に入られたご自身の経験を通して語ってくださいました。私の耳には厳しいお言葉として響きました。(講師推薦者 山崎 哲 記)



11月18日

城北ブロック会聞法会もんぼうかい

2回目となる池袋での聞法会でしたが、18名のご参加をいただきました。

大谷顧問は法話の中で、「私たちは生きている間に何をいただいていたのか、“生かされてきた私”ということが抜け落ちる。」と、賜るいのち、賜る信心について話されました。(仲井 真裕 記)



1月の山門の言葉

AI(人工知能)の時代。 ロボットに兵器をもたせる時代が来るかも。

人間に代わって、AI(人工知能)を内蔵するロボットがますますもてはやされる時代に入ってきた。

危機状態の人間を救済する時代の到来。例えば消防士さえ入れない火事現場でもロボットを突入させ、消火活動。人命救助を果たす。寝たきり老人の介護。あおり運転のない無人ドライバーの安全性実現、こうした範囲に止まるならばAIも価値はあるだろう。

しかし、大きく広げるならば国と国との経済戦争。感情のないAIならば殺人核兵器を搭載させて、無表情に引き金を引いてしまう可能性も充分にあり得る。

あらためて、人間のいのちは誰のものか、人工知能で作れるものか。いのちの中に流れている深い願いは人工知能では分析できない深さがある。AIはいのちへの冒涇ではないか、クローンもしかり。

(大谷 義博 記)

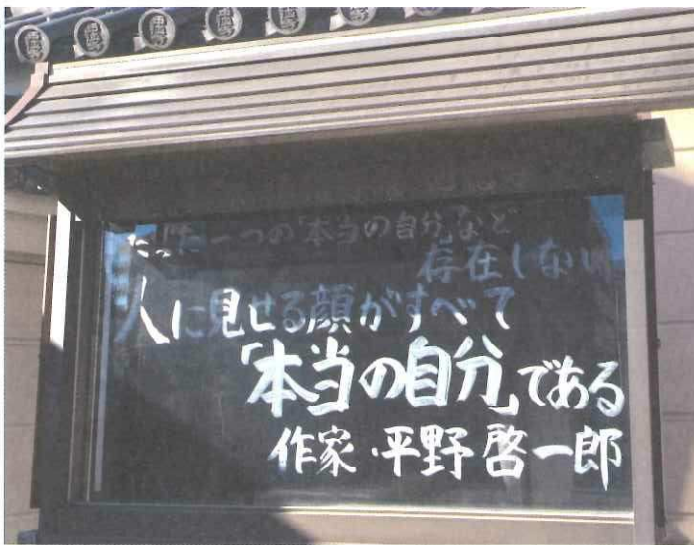


大谷 義博 (おおたによしひろ)

島根県浜田市出身(82歳)

【経歴】

- ・西徳寺最高顧問
- ・前佛光寺派宗務総長
- ・今年、西徳寺へ入寺63年目を迎えられる
- ・自前の包丁を持ち、料理人も顔負けの腕前を誇られる



私は本当の自分で今まで生きてこれたと思います。場所や日時にかかわらず人間同士、互いに相対して挨拶をし、会話をします。その中で、喜ばせる事だけでなく、心配すること、怒ることもあります。それも皆、本当の自分がしていることだと思えます。相手によって色々な思いをして、一人一人に変わった自分があるということ。それが本当の自分だと思えます。(76歳 女性)



私は
こう聞いた!!

「たった一つの『本当の自分』など存在しない。人に見せる顔がすべて、『本当の自分』である」を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。

「本当の自分」を見つめ直すことなどない日常ですが、心をさらけ出して生きるのは難しいです。心と外面合わせですが、自分だと思っています。本当というのは、何なのでしょう。本当の自分を求めて聴聞続けるのみと思いました。

(77歳 女性)



「本当というのは何なのでしょう」、この言葉に驚かされました。分かったようで分からないことがたくさんある、そして無頓着な毎日を過ごしていることを思わされました。(高橋 淳 記) 皆様のご感想、お待ちしております。

えこお志お礼

滋賀県 佛巖寺 様
台東区 飯高 多嘉子 様
品川区 市田 幸子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

ほうおんこう 西徳寺報恩講の1コマ

昨年の報恩講に、真宗興正派・善性寺副住職である千葉憲文布教使にお越しいただきました。

ご法話の後、聴聞されていたお同行から、昨年シリアで日本人フリージャーナリストが拘束された事件を通して取り上げられた「自己責任論」、そしていのちの尊さについてどう考えているかど質問がありました。

その問いに対して千葉師は、仏教における自己責任とは、自らがかけがえのない存在であるということに気付くことと同時に、周囲の人々の大事さに気付くことだといわれました。具体的には、お念仏のみ教えに出遇うことによって、自他共に受け入れ難き生老病死の人生を引き受けていく世界が開かれることだとお答えくださいました。
(木村 専正 記)



アウトフォーカス



今回の写真はご門徒の永守美佐子様からご提供頂きました。本山佛光寺報恩講(京都)へお参りされた際の写真で、賑々しく法要が勤まっている様子が伝わってきますね♪
京都へ訪れる際には、是非佛光寺へもお参り下さい♪

(大橋 伊知郎 記)



大勢の人!人!人!



本山佛光寺



お詫びと訂正

えこお 平成30年11月号(No.490) 2ページ「クローズアップ西徳寺・9月18日・19日職業体験」において、記述が誤っておりました。お詫び申し上げます。

(誤) 忍ヶ丘中学 (正) 忍岡中学



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook